



## せきゆ で 石油はどこから出るの

### せきゆ で ところ き 石油の出る所は、決まっている

石油は、プランクトンなどの、海の小さな生物の死がいが、海底に積み重なり、何億年もの間に、地下の高い圧力のもとで、分解されたものです。

石油は、地面をほれば、どこからでも出てくる、というものではありません。石油が出る所は、だいたい決まっています。今、石油がたくさん出ているのは、イラクやクウェートそれに、サウジアラビアなどの中東地方です。

そのほかに、アメリカやカナダ、ロシアなどからも、かなりの量の石油が出ています。しかし、日本では、ほとんど石油は出ていません。

### せきゆ せいゆ りよう 石油を製油して利用する

石油の出る地下は、石油が地下水のようにたまっている、と思われがちです。しかし、石油は、地下水のように、石油だけがたまっているのではなく、砂のつぶの間に、ふくまれています。

このように、砂のつぶの間にふくまれている、石油を取り出すのに、特別な機械を使って、ほり出しています。

地下から取り出したばかりの石油は、原油といって、黒い液体です。この原油は、そのまま使うことができないので、製油して、ガソリン、灯油、軽油、重油などにして利用します。  
(監修・国司 真)

